

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームピースプラント

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 17

回収数 17

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				運動を行うには十分なスペースである。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17				職員の子どもに対する声掛けが適切だと感じる。	今後も保護者の方や子どもとの情報交換を行い、成長を促していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				絵カードなど視覚支援などの設備も完備している。移動手段は階段とエレベーターがあり、必要な方には介助をしている。	個別療育の為、利用児室に合わせた関わりを行っていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				療育室内は広く、活動をしやすい環境になっている。	今後も療育室内を清潔で、安全に療育出来るようにしていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				子どもに合った支援が行われており、とても成長を感じる。	今後も子どもの成長に合わせて支援をしていきたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				そう感じる。	常に保護者とニーズのすり合わせはしていきたい。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1			子どもの心も体もとても成長している。	子どもの成長に合わせて保護者の人と話をし支援計画を作成していきたい。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				支援計画やモニタリングなど直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				子どもに合った支援が行われており、とても成長を感じる。	今後も子どもの成長に合わせて支援をしていきたい。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1			先生によって差があるように感じる。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					サービスなし。	子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていけるようにしていきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				その都度に説明を受けている。	今後も保護者の方に必要な情報をわかりやすく説明し、保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				支援計画やモニタリング等直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					サービスなし。	療育後など保護者に情報交換を行い、家族の方に支援できるようにしていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				体調や集中力などその日の状態に合わせていただけるので助かります。ルールの理解やコミュニケーションの取り方など子どもに課題にあった療育を行ってくれている。	今後も療育だけでなく、保護者の方と情報交換できるようにしていきたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					サービスなし。	今後も療育だけでなく、保護者の方と情報交換し、少しでも成長につながるようしていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				支援計画など保護者のニーズが反映されている。	保護者のニーズと支援内容のすり合わせを行い、反映している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					サービスなし。	保護者同士でコミュニケーションが取れる機会を作りたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1			児童発達支援管理責任者やリーダーが主に対応されている。	今後もどの職員でも相談し解決できるようにしていきたい。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			専門的な視点から話を伺うことができ、家でも試せることを教えていただいております。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				サービスなし。	保護者の方に分かりやすいようにしていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			ご意見なし。	今後も個人情報の扱いは十分注意していきたい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に出来るようにしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			避難訓練に参加したことがありますが、迅速な対応でした。	今後も職員も意識できるようにしていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			メインのスタッフとフォローのスタッフがいてくれている。	今後も危険性のないように努めていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			療育での毛があった場合いつも帰宅後に連絡をいただく。療育は保護者も同席なので怪我の瞬間は保護者も見ている事が多い。	怪我や事故があった際には迅速な対応を心掛けている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			いつも楽しく安心して通っている。	今後も子ども達が楽しく通う事ができるように努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		来ることを楽しみにしている。先生と一緒にに行っていることを園でも友達と遊んでいる。	今後も子ども達が楽しめるような課題に取り組んでいきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	5		今までで出来なかったことができるようになった。日常生活での色んな動作がスムーズになった。	今後も子ども達に達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム ピースプラント3くみ

公表日 2026年3月1日

利用児童数 28人

回収数 28枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28				隣の子が高学年だとぶつからないかなど心配になる。	1時間に児童の定員は2名と設定しているため、十分なスペースは確保できている。ただ、年齢が高くなるにつれて、スペースを必要としている児童もいるので、療育内容を工夫していきたい。
	2 職員の配置数は適切だと思いますか。	28				適切だと思う。	個別対応での療育を実施しており、場面に応じてはフォローの職員と連携する等、工夫しているため、今後も連携しながら進めていきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28				分かりやすい空間が環境設定されている。	集中が途切れないように、不要な掲示は減らしている。必要に応じては視覚支援を用いる等、子どもに合わせて環境設定している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1			綺麗に清掃されていると感じる。ただ、室内温度が極端に高い時や低い時がある。	毎日業務終わりには掃除を徹底しており、月に一度は大掃除をするなど、清潔に保っている。保護者の様子を見て空調管理もしていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28				兄弟で利用しているが、それぞれの事を理解し、支援してくれている。	子どもへの理解を日々深め、療育後に共有やフィードバックをするなどし、日々情報共有しながら支援する事が出来ている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28				合っている。	ピースプラントが公表している支援内容を、一人ひとりのレベルや目標に合わせて設定している。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2			子どもの苦手な部分どこか全体を把握できていない。	保護者と子どものニーズは、日々療育後のフィードバックで確認しているが、伝わり切っていない部分もある。保護者一人一人に向けた伝え方や提示方法を考えて行っていく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28				子どもの支援だけでなく、保護者の話も聞いてくれたり、地域とも連携してくれているので有難い。	療育時には保護者も同席し、療育後のフィードバックや、療育外での様子を聞き取り日々の支援に落とし込む事は確実に実施している。また、必要な保護者には、面談を実施する等、本人以外の家族支援も実施している。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28				様々な職員が入っても、支援計画通りに支援してくれている。	情報共有を徹底し、子どもに必要な力を支援に落とし込んでいきたい。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28				同じ活動にならないように工夫されているように思う。	担当制にしていないため、様々な職員が、活動内容を展開しながら支援に関わっている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				28	ない。	現状、当事業所以外の場で、地域の児童と交流する機会が設けられていない為、今後検討していきたい。
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28				説明があった。	契約時には運営規定や支援プログラムを細かく説明しており、利用者負担額については初回の発生時や、無償化から利用者負担額発生時のタイミングで丁寧に説明を行っている。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				毎回丁寧に説明がある。	児童発達支援計画を用いて、必ず半年に1回は説明を行い、保護者の同意を得ている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28				ペアレント・トレーニングは無いが、勉強会や研修には参加している。	ペアレント・トレーニングは実施していないが、月に1度、保護者向けの研修を実施し、子どもや発達障がいへの理解を深めている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28				日々の療育時に、子どもの話が出てくる。	保護者同席の中、療育支援を行い、療育支援後にはフィードバックもしている為、日々、話し合いを重ねて子どもの共通理解を図っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28				日々の療育時に、話が出てくる。必要時には、個別面談を実施してくれる。	必要な保護者には個別面談の時間を設け、子どもが同席しない時間に子どもの相談が出来るよう、時間を確保している。

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28			子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら支援してくれているように感じる。	子どもと保護者の気持ちによりそいながら、日々支援する事を心掛けたいと思う。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	25	保護者向けの勉強会や研修はあるが、きょうだいへの支援としては現状、無いように感じる。	保護者向けの勉強会や研修は実施しているが、きょうだい児への支援は今後検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28			日々の療育中や療育後に話す時間がある。必要に応じて、面談を設けてくれる。	必要に応じて、面談を提案したり、相談があった際にはいつでも対応できるように努めている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28			情報共有は毎回行われているように思う。	朝礼や、終礼を用いて、子どもや保護者の情報を確実に共有している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28			SNSの定期発信や、新聞作成、掲示がされている。	SNSには全エリアの様子を定期的に発信しており、イベント時や年末には、アンケートを用いた新聞を作成し、店舗内に掲示している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28			丁寧に取扱われていると思う。	施設出来る書庫で子どもの情報は管理しており、退勤時には確実に施錠して、情報管理は徹底している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28			定期的に避難訓練が実施されている。	マニュアルを作成し、共有している。また、半年に1回避難訓練を実施したり、避難経路の確認も行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			実施されている。	半年に一度、避難訓練を実施しており、今年度は大阪市消防局に依頼し、SRCを受講した。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			新しいものに定期的に交換していると思う。	定期的に遊具点検や遊具交換を実施し、子どもの安全を確保している。物品が破損している場合には修理・交換を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			怪我をした際や、本人が痛みを訴えている時には、状況が保護者に伝達される。また、場面によっては処置も速やかに行ってくれる。	今後も怪我の大小に関係なく、事故や怪我が起きてしまった場合には、速やかに対応していきたい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28			様々な事を受け入れてくれることに安心し、来所している。	子どもの状況や場面に応じて必要な力を見極め、まずは、安心して通える場所、環境である事を心がけたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28			とても楽しみにしている。	まずは楽しむ事を大前提とし、その中で向き合う場面や、頑張る課題にも取り組んでいきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28			いつも工夫して支援してくれている。	現在の支援に満足せず、常により良い支援が出来る様取り組んでいきたい。